

# 農産加工品の開発・改善と加工所開設支援

農業技術センター普及指導部作物加工課 実施期間: 令和4～8年

## 課題・目的

- 農産加工に取り組んでいる農業者は、地場産由来の加工品を製造・販売しているが、商品の単一化や重複などを避けた加工品製造が必要である。また、農産加工を希望する農業者は増加しているものの、加工所開設や加工技術、製品管理に関する知識等を習得する機会が少ないため、支援が必要である。
- 農産加工に取り組んでいる農業者に対しては、既存商品の改善や新商品の開発を支援し、継続的な生産・販売による販売額の増加を図る。また、農産加工を希望する農業者に対しては、製造・販売の開始を支援し、農産加工を拡大する。

## 活動内容

- 農産加工に取り組んでいる農業者に対して、商品化技術や販売方法、パッケージやネーミング改善等に係る加工技術研修会(18回)を実施するとともに、個別相談や巡回指導(延べ198回)により、既存商品の改良や新商品の企画60件を提案した。
- 学校給食用や業務用加工品を含む40商品(うち新商品25)が改善・商品化された。  
〈商品開発の一例〉‘イチゴグミ’ ‘レーズン’ ‘昔ながらの漬物3種’ ‘季節のアイス’ ‘梨のコンポート’ ‘万能たれ’ 等
- 農産加工を希望する農業者に対して、巡回指導(30回)や加工経営相談(延べ86回)を実施し、経営開始に必要な施設整備基準、衛生管理技術、商品化技術の習得等を支援した。
- 令和4年度から5年度上期までの活動の結果、43人が経営計画・加工工程管理表を作成し、うち14人が農産加工経営を開始した。



みかんのアイスクリーム

## 今後の展開

- 農産加工に取り組んでいる農業者に対しては、引き続き研修会や巡回指導を行い、令和8年度までに農産加工品の改良、商品化に向けた企画の提案を延べ100件実施し、うち90商品の改善・商品化を目指す。
- 新たに農産加工に取り組んだ農業者に対しては、経営相談や巡回指導を行ない、経営計画・加工工程管理表の作成延べ75人、うち25人が農産加工経営を開始できるようにする。